



## 給食に感謝!給食記念週間始まる

給食に関する理解を深めたり、給食の仕事に携わってくださる方々への感謝の気持ちを育てたりするために、給食記念週間が今週23日(月)~27日(金)まで行われます。期間中は、校内放送で給食への感謝の思いを学年代表が発表したり、マナーについて学級で考えたり、給食の先生方へ作文やメッセージカードを渡したりします。今日は、校内放送で校長の話があったので、以下のような内容を子供たちに伝えました(省略して掲載します)。



日本の食前の「いただきます」は日本特有の挨拶であり、まったく同じ意味の言葉は外国のどこを探しても見当たりません。「いただく」というのは、米や野菜、魚、肉などすべての食材には命があると考え、その命をいただくことで、自分が生かされていることに感謝する言葉なのです。もう一つ、「いただきます」は、食材を育てる人や運ぶ人、食事を作る人、配膳する人など、その食事を整えるのに携わった全ての人に対する感謝の心を示す日本人としての食の作法なのです。

さて、今週から給食週間が始まりますが、この給食週間は、まさしく給食に関わる全ての人や物やことに感謝する週間だと思えます。それでは、世界に目を向けると、給食が出される国はあるのでしょうか?実はたくさんあります。例えば・・・アメリカの給食は、食堂で食べることが一般的です。食堂では、自由に食べたいものを選びます。チキンやフライドポテト、ハンバーガー、ホットドッグなどが人気でした。様々な種類の飲み物が用意され、自動販売機を置いてある学校もあります。しかし、給食の様子は、子供たちは好き嫌いをして、食べ残しを平気でするし、散らかった床だって片付けません。そんなときに、日本のある動画が紹介され、大きな話題となりました。それは給食の動画なのです。

授業を終えた子どもたちが、先生にお辞儀をして、給食当番が着替えて、給食室へ行く様子、「いただきます。」をして、おかわりのためにじゃんけんで勝った人が食べている様子・・・そして、残さず「ごちそうさまでした」をいう様子。最後の極めつけは、汚れた教室を雑巾を絞って掃除している様子です。

動画は7ヶ国語に翻訳され、世界30カ国以上で見られ、再生回数は700万回を突破する大人気コンテンツになっていて、コメント欄も賑やかです。「みんな礼儀正しくて素晴らしい。日本さすが!」「子供を日本の学校に入れたい」「急に日本に引っ越したくなった」このように、日本の給食や掃除の習慣、礼儀正しさを賞賛する声が多いのです。

日本の給食は、世界に誇れる素晴らしい文化です。毎日当たり前になっていた給食の習慣の素晴らしさをもう一度噛みしめ、感謝しながら、給食に今日も「いただきます。」の思いを込めておいしくいただきましょう!

<https://tabi-labo.com/245480/japanese-kyusyoku>

URL をクリックするかタップすると上記紹介したサイトに移動できますが、YouTube を視聴するには、別途データ通信料がかかりますのでご了承ください。